

2 研究の実際

(4) 考察の視点

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成 29 年 6 月）、中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成 29 年 7 月）には、道徳科の評価に当たって「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが重要である（下線：引用者）」と示されました⁽¹⁾。このことを踏まえ、本研究の考察の視点を以下のように設定しました。

視点Ⅰ 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させることができたか。

視点Ⅱ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることができたか。

視点Ⅰ 「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させることができたか」について

「心の学び記録」・「道徳ノート」・「心の種」の記述分析のポイント

- ① 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしているか。
- ② 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしているか。
- ③ 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしているか。

視点Ⅱ 「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることができたか」について

「心の学び記録」・「道徳ノート」・「心の種」の記述分析のポイント

- ① 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしているか。
- ② 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直しているか。
- ③ 他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めているか。
- ④ 他者と議論する中で、道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしているか。

《引用文献》

- (1) 文部科学省 『小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』 平成 29 年 6 月 第 5 章第 2 節 2
 文部科学省 『中学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』 平成 29 年 7 月 第 5 章第 2 節 2